

# 危ういキャンプ富士のオスプレイ訓練 井上さとし参院議員が質問主意書でただす

井上さとし参院議員が提出していたオスプレイに関する質問主意書に対する答弁書が19日、政府からありました。



キャンプ富士で調査する井上議員ら

質問内容は▽オスプレイの訓練は滑走路に限られるのか、東富士演習場も使用するのか▽米軍の『環境レビュー』は夜10時までの訓練に言及しているが夜間訓練を実施するのかわる音被害にかかわる進入路を新たに設定する

のか▽厳格な手続きが必要なキャンプ富士の使用について地元の同意なしに進めるのかーなどを質問しています。

とで承知していない、米側から説明があれば地元の説明する、というまったく主体性のない内容でした。

これに対し、答弁書では米側から普天間基地以外の米軍基地・区域に訓練のために飛来すると説明を受けているが、オスプレイの訓練の詳細は米軍の運用に関するこ

### 再稼働反対アクション@静岡に参加！井上議員

井上さとし参院議員は22日、官邸前行動に呼応して行われた静岡市青葉公園での「再稼働反対アクション@静岡」に参加。より大介選挙区候補も参加しました。

ムンクの「叫び」の人も登場。いろんな曲の替え歌をギター伴奏で歌いながら、行進しました。

## 米国無敗のISD 主権侵害は明白 佐々木憲昭衆院議員が安倍首相を追及

佐々木憲昭衆院議員は22日、財務金融委員会にてTPPに盛り込まれる「企業と国家の紛争解決（ISD）条項」について安倍首相に質問しました。



ISD条項は、進出先の政府から多国籍企業が「不当な法律や規制で損害を受けた」とみなした場合、国際的な第三者機関に提訴し、それが認められると進出先の国から賠償を得られる

制度。佐々木氏の質問に対し、外務省は①第三者機関の決定は仲裁人3人の多数決で、上訴できない②問題とされた法律や規制の必要性は争われず、「不利益」の有無だけが裁定の争点になるとのべました。

佐々木氏は、米国はISD条項で訴えられた14件のうち負けたのはゼロ。一方で、カナダとメキシコが提訴された46件のうち30件は米国企業が原告だったことを示し、「ISDをいかにアメリカが有利に使ってきたかがわかる」と強調。さらに「企業の言い分が認められたら、国民の税金で賠償し、結果的に外国企業の言うとおりの制度にしなければなら

なくなる。主権侵害の極めて重大な仕組みだ」と指摘しました。

安倍首相は「日本企業も外国政府を訴えられる仕組みであり、平等な条約だ」と答弁。しかしそれは当事国の政府よりも日本企業の利益を上に置くものであり、外国の主権を侵害することに変わりありません。

佐々木氏は、「安倍首相の答弁は、TPP参加ありき」というもので、主権を危うくするもの。TPP参加をやめるしかない」と強調しました。

24日行われた静岡市議選で、日本共産党の山本明久、鈴木節子、寺尾昭、内田隆典、西谷博子の各氏が当選。前回比1議席増の5議席を獲得しました。一方、三重・伊賀市議選は現有2議席から1議席に、愛知・蟹江町議補選（定数1、立候補3）では29.6%を得票しましたが、当選には至りませんでした。